

# へき地医療対策

## 現状と課題

### 現状

- 青森県のへき地の状況は、**10無医地区、20準無医地区**となっている。
- へき地への医療提供体制は、**15へき地診療所、6へき地医療拠点病院、青森県地域医療支援センター**等で対応している。
- へき地においては、へき地医療拠点病院による**巡回診療、医師派遣及び代診医派遣**が行われている。
- 一部自治体では、患者輸送等により医療が受けられる機会を確保している。

### 課題

- 今後は、限られた医療資源で、より効果的に地域の医療ニーズに応えられるよう、**これまでの取組を可能な限り継続**していくとともに、**ICTを活用した遠隔医療**の実施など、関係機関が連携し、地域の実情に合った**持続可能な医療体制を構築**することが必要である。

## 施策の方向性

### 目的

へき地に暮らす住民に対する**医療サービスが継続して実施される体制を構築**する。

### 施策の方向性

- 医療を確保する体制を構築するため、青森県地域医療支援センターではへき地医療を担う医師の動機付け支援とキャリアパス構築について取り組み、**へき地医療に従事する医療従事者を確保**する。
- 診療を支援する体制を構築するため、へき地診療所、へき地医療拠点病院、青森県地域医療支援センター等による**医療提供体制の確保**や、当該施設及び関係機関間の**連携の強化**を図る。

アウトプット（施策）（A）

| 医療を確保する体制 |   |                   |                 |
|-----------|---|-------------------|-----------------|
| 番号        | 項目  | 現状値               | 目標値             |
| 1         | へき地診療所の医師数（常勤及び非常勤常勤換算）                         | 11. 23人<br>(R4年度) | 現状維持<br>(R10年度) |
| 2         | へき地医療拠点病院に勤務する医師のうち、へき地医療を行っている医師数（常勤及び非常勤常勤換算） | 23. 88人<br>(R4年度) | 現状維持<br>(R10年度) |

| 診療を支援する体制 |  |                  |                 |
|-----------|--|------------------|-----------------|
| 番号        | 項目   | 現状値              | 目標値             |
| 3         | へき地医療拠点病院からの巡回診療の実施回数                        | 117回<br>(R4年度)   | 現状維持<br>(R10年度) |
| 4         | へき地医療拠点病院からの医師派遣回数                           | 119回<br>(R4年度)   | 現状維持<br>(R10年度) |
| 5         | 主要３事業（巡回診療、医師派遣、代診医派遣）の年間実績が合算で１２回以上の医療機関の割合 | 71. 4%<br>(R4年度) | 100%<br>(R10年度) |
| 6         | 必須事業（上記主要３事業及び遠隔医療による支援）の実施回数が年間１回以上の医療機関の割合 | 71. 4%<br>(R4年度) | 100%<br>(R10年度) |
| 7         | I C Tによる診療支援を実施したへき地医療拠点病院数                  | 1か所<br>(R4年度)    | 6か所<br>(R10年度)  |
| 8         | へき地患者輸送事業の実施無医地区等数                           | 18地区<br>(R3年度)   | 現状維持<br>(R9年度)  |

初期アウトカム（B）

| 番号 | 目標項目  | 現状値               | 目標値             |
|----|---|-------------------|-----------------|
| 1  | へき地診療所の医師数（常勤及び非常勤常勤換算）                         | 11. 23人<br>(R4年度) | 現状維持<br>(R10年度) |
| 2  | へき地医療拠点病院に勤務する医師のうち、へき地医療を行っている医師数（常勤及び非常勤常勤換算） | 23. 88人<br>(R4年度) | 現状維持<br>(R10年度) |

分野アウトカム（C）

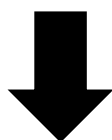
| 番号 | 目標項目                                | 現状値            | 目標値             |
|----|-------------------------------------|----------------|-----------------|
| 1  | 医療を受けられる機会が確保されている無医地区等の割合（医療薬務課調べ） | 100%<br>(R5年度) | 100%<br>(R11年度) |

指標一覧

|   | 番号 | 項目   | 現状値              | 目標値             | 備考  |
|---|----|--|------------------|-----------------|---|
| A | 1  | へき地診療所の医師数（常勤及び非常勤常勤換算）                            | 11.23人<br>(R4年度) | 現状維持<br>(R10年度) | 現況調査から  |
|   | 2  | へき地医療拠点病院に勤務する医師のうち、へき地医療を行っている医師数（常勤及び非常勤常勤換算）    | 23.88人<br>(R4年度) | 現状維持<br>(R10年度) | 現況調査から  |
|   | 3  | へき地医療拠点病院からの巡回診療の実施回数（現況調査）                        | 117回<br>(R4年度)   | 現状維持<br>(R10年度) | 現況調査でR4年度実績が判明するのはR5年度秋以降のため、医療薬務課調べの数値       |
|   | 4  | へき地医療拠点病院からの医師派遣回数（現況調査）                           | 119回<br>(R4年度)   | 現状維持<br>(R10年度) | 現況調査でR4年度実績が判明するのはR5年度秋以降のため、医療薬務課調べの数値       |
|   | 5  | 主要3事業（巡回診療、医師派遣、代診医派遣）の年間実績が合算で12回以上の医療機関の割合（現況調査） | 71.4%<br>(R4年度)  | 100%<br>(R10年度) | 現況調査でR4年度実績が判明するのはR5年度秋以降のため、医療薬務課調べの数値       |
|   | 6  | 必須事業（上記主要3事業及び遠隔医療による支援）の実施回数が年間1回以上の医療機関の割合（現況調査） | 71.4%<br>(R4年度)  | 100%<br>(R10年度) | 現況調査でR4年度実績が判明するのはR5年度秋以降のため、医療薬務課調べの数値       |
|   | 7  | I C Tによる診療支援を実施したへき地医療拠点病院数（現況調査）                  | 1か所<br>(R4年度)    | 6か所<br>(R10年度)  | 現況調査でR4年度実績が判明するのはR5年度秋以降のため、医療薬務課調べの数値       |
|   | 8  | へき地患者輸送事業の実施無医地区等数（現況調査）                           | 18地区<br>(R3年度)   | 現状維持<br>(R9年度)  | 現況調査でR4年度実績が判明するのはR5年度秋以降のため、R3年度実績としている      |
| B | 1  | へき地診療所の医師数（常勤及び非常勤常勤換算）                            | 11.23人<br>(R4年度) | 現状維持<br>(R10年度) | 現況調査から  |
|   | 2  | へき地医療拠点病院に勤務する医師のうち、へき地医療を行っている医師数（常勤及び非常勤常勤換算）    | 23.88人<br>(R4年度) | 現状維持<br>(R10年度) | 現況調査から  |
| C | 1  | 医療を受けられる機会が確保されている無医地区等の割合（医療薬務課調べ）（医療薬務課調べ）       | 100%<br>(R5年度)   | 100%<br>(R11年度) | 巡回診療、患者輸送等の医療へのアクセスが図られている無医地区等30地区/無医地区等30地区 |

## 第8次計画における圏域の考え方

|     |       |  |
|-----|-------|--|
| 第7次 | 圏域の設定 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・青森地域保健医療圏域</li> <li>・津軽地域保健医療圏域</li> <li>・八戸地域保健医療圏域</li> <li>・西北五地域保健医療圏域</li> <li>・上十三地域保健医療圏域</li> <li>・下北地域保健医療圏域</li> </ul> |
|     | 経緯・理由 | <p>へき地医療対策の医療圏域については、主に二次保健医療圏内で事業が実施されていることから、二次保健医療圏と同様に6圏域を設定した。</p>  |



第8次計画策定時点では圏域の設定に変更なし。

|     |       |  |
|-----|-------|--|
| 第8次 | 圏域の設定 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・青森地域保健医療圏域</li> <li>・津軽地域保健医療圏域</li> <li>・八戸地域保健医療圏域</li> <li>・西北五地域保健医療圏域</li> <li>・上十三地域保健医療圏域</li> <li>・下北地域保健医療圏域</li> </ul> |
|     | 理由    | <p>へき地医療対策の医療圏域については、現状主に二次保健医療圏内で事業が実施されていることから、二次保健医療圏と同様に6圏域を設定した。</p> <p>ただし、今後、遠隔医療の推進等によるへき地医療の状況変化等を踏まえ、第8次計画期間中に圏域の見直しについて議論していく。</p>                            |

第3 目指すべき医療機能の姿

| 機能           | 保健指導   | へき地診療   |
|--------------|--|---|
| 目標           | ○無医地区等において、保健指導を提供すること   | ○無医地区等において、地域住民の医療を確保すること<br>○24時間365日対応できる体制を整備すること<br>○専門的な医療や高度な医療へ搬送する体制を整備すること   |
| 担い手          | ○無医地区等を有する市町村  | ○へき地診療所<br>【津軽地域保健医療圏】<br>葛川診療所、碓ヶ関診療所<br>【八戸地域保健医療圏】<br>新郷診療所<br>【西北五地域保健医療圏】<br>市浦医科・歯科診療所、小泊診療所、深浦診療所<br>【上十三地域保健医療圏】<br>十和田湖診療所、六ヶ所村地域家庭医療センター、千歳平診療所<br>【下北地域保健医療圏】<br>川内診療所、脇野沢診療所、風間浦診療所、牛滝診療所、福浦診療所、東通村診療所<br>○過疎地域等特定診療所<br>小泊診療所（歯科）、風間浦診療所（歯科） |
| 関係機関に求められる事項 | ○保健師等が実施し、必要な体制が確保できていること<br>○地区の保健衛生状態を十分把握し、計画的に地区の実情に即した活動を行うこと | ○プライマリケアの診療可能な医師等がいること又は巡回診療を実施していること<br>○必要な診療部門、医療機器等があること<br>○緊急の内科的・外科的処置が可能なへき地医療拠点病院等と連携していること<br>○へき地医療拠点病院等における職員研修等に計画的に参加していること   |

| 機能           | へき地診療の支援医療  | 行政機関等の支援   |
|--------------|---|--|
| 目標           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○診療支援機能の向上を図ること</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○医療計画の策定</li> <li>○医療計画に基づく施策の実施</li> <li>○へき地保健医療政策の中心的機関として、へき地において継続的に医療サービスを提供できるよう、関係機関の調整等を行うこと</li> </ul>  |
| 担い手          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○へき地医療拠点病院<br/>青森県立中央病院、三戸中央病院、<br/>鱒ヶ沢病院、公立野辺地病院、むつ総合病院、大間病院</li> <li>○特定機能病院<br/>弘前大学医学部附属病院</li> <li>○地域医療支援病院<br/>青森県立中央病院、青森市民病院、<br/>国立病院機構弘前総合医療センター、八戸市立市民病院、<br/>八戸赤十字病院、青森労災病院、十和田市立中央病院</li> <li>○臨床研修病院<br/>青森県立中央病院、青森市民病院、弘前大学医学部附属<br/>病院、国立病院機構弘前総合医療センター、黒石病院、<br/>健生病院、つがる総合病院、八戸市立市民病院、<br/>八戸赤十字病院、青森労災病院、十和田市立中央病院、<br/>三沢市立三沢病院、むつ総合病院</li> <li>○救命救急センターを有する病院<br/>弘前大学医学部附属病院、青森県立中央病院、<br/>八戸市立市民病院</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○青森県</li> <li>○青森県地域医療支援センター</li> </ul>   |
| 関係機関に求められる事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○巡回診療等によりへき地住民の医療を確保すること</li> <li>○へき地診療所等への代診医等の派遣（継続的な医師派遣を含む。）及び技術指導、援助を行うこと</li> <li>○へき地の医療従事者に対する研修の実施及び研究施設を提供すること</li> <li>○遠隔診療等の実施により各種診療支援を行うこと</li> <li>○その他都道府県及び市町村がへき地における医療確保のため実施する事業に対して協力すること</li> <li>○24時間365日、医療にアクセスできる体制を整備するため、地域の診療所を含めた当番制の診療体制を構築すること</li> <li>○高度の診療機能を有し、へき地医療拠点病院の診療活動等を援助すること</li> <li>○へき地医療拠点病院は、巡回診療、医師派遣、代診医派遣を、いずれか月1回以上あるいは年12回以上実施することが望ましいこと</li> <li>○県は、一定期間継続して上記3事業の実施回数がいずれも月1回未満あるいは年12回未満であるへき地医療拠点病院については、その取組が向上されるよう、そのあり方等について検討すること</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○へき地医療に従事する医師のキャリア形成支援を行うこと</li> <li>○へき地における地域医療分析を行うこと</li> <li>○へき地医療対策実施に係る助言・調整を行うこと</li> <li>○へき地等に従事する医師の紹介及び調整を行うこと</li> <li>○へき地医療に従事する医師確保・育成に係る地域医療関係者と連携していること</li> <li>○医療機関が必要時に遠隔医療を活用したへき地医療を行えるよう必要な支援を行うこと</li> </ul> |